

第 6 3 回
東北地方交通審議会
船員部会議事要録

平成 2 6 年 1 月 2 4 日
東北地方交通審議会
船員部会事務局

東北地方交通審議会

第63回船員部会

日 時 平成26年1月24日（金） 15：30～

場 所 仙台第4合同庁舎 4階会議室

出席者 公益委員：長谷部部会長、村上部会長代理、清水委員、箭内委員
労働者委員：高橋（雅）委員、正路委員、野田委員
使用者委員：鶴本委員（欠席）、佐藤委員（欠席）、湯村委員

運輸局：本田海事振興部長、阿部海事振興部次長
遠藤海上安全環境部船員労働環境・海技資格課長
鈴木海事振興部船員労政課長
淀川労政係長

議 題 （1）管内の雇用等の状況について

（2）その他

配付資料

資料1 船員職業安定業務取扱状況説明資料（11月分）
資料2 新規求人・求職数（東北管内：3年対比）
資料3 有効求人・求職数（東北管内：3年対比）
資料4 新規求人・求職数（全国）
資料5 有効求人・求職数（全国）
資料6 有効求人倍率（東北管内）
資料7 有効求人倍率（全国）
資料8 平成25年度船員最低賃金審議状況（全国）
資料9 平成26年度海事局関係予算概要
資料10 新聞情報

議 事 概 要

◎開 会

【阿部海事振興部次長】

〔第63回船員部会の成立について報告〕

〔配付資料確認〕

◎議 事

(1) 管内の雇用状況等について

〔鈴木船員労政課長より資料1から資料7に基づき報告〕

【長谷部部会長】

どうもありがとうございます。

ただいまの説明について、何か意見、また質問等ございましたら。

震災の影響が殆んどなくなってきて、元の全体としてしぼんでいく傾向に戻ったということでしょうか。求人はあるのだけれども、求職者数は少ないということでしょうか。よろしいですか。何かありましたら。

【清水委員】

船員不足がだんだん出てくるということですね。

【長谷部部会長】

これから海外外国人船員をとというふうになるのでしょうか。

【清水委員】

カボタージュがありますから、なかなか外国人を入れる訳にはいかんでしょうから。

【長谷部部会長】

特区で、なかなか問題出てくるかもしれませんね。

【湯村委員】

やっぱり内航の船員の平均年齢が50代、50何歳ですからね、現在。そういう方々がやっぱり定年迎えるのはもう間もない。若手が育っていない、若手を育てておかないと船員不足が生じるんじゃないかと思います。

【長谷部部会長】

ここに来て、その問題がちょっと顕在化しそうですね。

【湯村委員】

そうですね。

【長谷部部会長】

よろしいでしょうか。

では、ご意見、ご質問等なければ、ご承認頂いたということで先に進めたいと思うのですが、よろしいですか。（「はい」の声あり）ありがとうございます。

続きまして、議題（2）その他の事項に入ります。はじめに、事務局から資料8の

最低賃金審議状況について報告をお願いします。

〔鈴木船員労政課長より資料8-1・資料8-2に基づき報告〕

【長谷部部会長】

どうもありがとうございます。

1月14日時点での最賃の全国の諮問に対する答申、そして審議状況が1つ。それから、それに基づく我々の方の公示の資料が1つということです。

何かご質問、ご意見等ございますか。高橋委員。

【高橋委員】

最低賃金の適用される日は、いつ位になるのですか。

【鈴木船員労政課長】

異議の申出期限が公示の日から15日以内となりますので、異議がなければ15日間経過後に最低賃金の決定、決定公示の官報掲載の手続き、官報公示から30日間経過後に効力発生というスケジュールになります。

【高橋委員】

そうすると、3月ということですね。

【鈴木船員労政課長】

予定としては、年度内に効力発生のスケジュールで進めております。

【高橋委員】

はい、わかりました。

【長谷部部会長】

ご安心頂いたということで。

ほかにございますか。

【野田委員】

参考までに、今の公示のことですが、15日以内に異議申し立て、以前あれば、その内容がわかればちょっと教えてほしいのですが。過去に異議があったか、どういう内容だったのか。

【阿部海事振興部次長】

異議については、まだ公示期間中なので、出れば、それについてお話は出来るんですけども、何も来ていません。過去にも無いです。

【野田委員】

わかりました。

【長谷部部会長】

よろしいですか。他にございますでしょうか。

ありませんでしたら、ご承認頂いたということで、先に進めさせて頂いてよろしいですか。（「はい」の声あり）どうもありがとうございます。

それでは、続きまして資料9の平成26年度海事局関係予算概要について報告をお願いします。

〔鈴木船員労政課長より資料9に基づき報告〕

【長谷部部会長】

ありがとうございます。

ご意見、ご質問等ございますか。高橋委員。

【高橋委員】

今、アジア地域からの船員教育者養成事業の報告がありますがけれども、今現在ミャンマーの教育者は何人位派遣されていますか。25年度どこの地域から何人位採っていたんですか。

【鈴木船員労政課長】

フィリピンとかベトナムとかです。

【高橋委員】

何人位来たかというのは把握していないですか。分らないということですか。

【鈴木船員労政課長】

それはわかりません。

【長谷部部会長】

ご質問の趣旨は、この事業はあまり有効ではないんじゃないかということですか。

【高橋委員】

何人位（「実態として」の声あり）来ているのかなと思ひまして。

【正路委員】

今既にミャンマーから何人かは来ているんじゃないかなと思うんですが、それを拡大するというふうな書き方じゃないですか。

【本田海事振興部長】

調べて報告します。

【高橋委員】

はい。

【清水委員】

大体海技大学校は20人位1つでやっていく感じですね。

【長谷部部会長】

難しいですね。効果が出てくることを期待しつつ。

他にございますか。ありませんでしたら、ご承認頂いたということでよろしいでしょうか。（「はい」の声あり）どうもありがとうございます。

では、続きまして、情報提供等をお願いしたいと思います。

労働者委員の側から、いかがでしょうか。

【高橋委員】

それでは、私の方から。

平成26年度の協約改定の要求内容についてですけれども、内航関係では、内航2団体については、標令18歳の賃金を1%、1,640円引き上げの16万5,290円、もう一つが職務給、これを部員35歳ポイントで基本給の3%相当額を基準に引き上げるということで、部員経歴ゼロ年の人のところで8,280円、3,440円のアップ。

全内航ですけれども、こちら標令給1%相当額1,640円引き上げの16万5,290円、

職務給についても同じように部員35歳ポイントの基本給3%相当額を基準に引き上げ、部員経歴ゼロ年の方で7,960円、3,460円の要求となっております。

港湾関係ですけれども、こちらは部員の初任額2%として、初任額が16万7,430円、3,280円のアップです。

外航に関しては、賃金カーブを維持しつつ、月例賃金の1%以上引き上げを目指すという内容です。

旅客船関係ですけれども、こちらは部員初任額ですけれども、2,230円、1.34%アップの16万9,760円です。

という要求を決めまして、今現在大衆討議期間ということで、組合員に今周知しております。2月17日にうちの機関会議で決定することになっております。

地区漁船の方なんですけれども、部員Aで基本給15万7,000円という数字で要求を組むことになっています。この15万7,000円以上を上回っている基本給がある場合は、基本給の2%相当額を要求することになっています。あと、その他有給休暇とか、その他諸手当なんかは、その地区地区で判断して要求を組むということになっています。

もう一つが、船員の住民税の軽減の運動をしている訳ですけれども、これが今月の15日、四日市市の方で本年の4月1日から実施するという、個人均等割税といたしましたかね、そこの半分、金額にしますと1年間6,000円相当あるみたいですがけれども、これの半額の3,000円が軽減されると。6カ月以上の長期航海の方が対象です。

もう一つが、新聞情報の後ろからいって、FOCキャンペーン14年計画とありますけれども、来月の4日から6日、3日間、東北地区においては、仙台、塩釜、石巻、小名浜で実施します。以上です。

【長谷部部会長】

ありがとうございます。

労賃アップは実現できそうなんですか。

【高橋委員】

なかなか厳しいものがあるんじゃないかなと思いますけれども。

【長谷部部会長】

何か。

【正路委員】

あと1件。八戸地区で、今海技免状取得のための講習会を開催しております。それは、3月の臨時試験を八戸で実施するというので、航海の方に12名、機関の方に6名、合わせて18名の現役の船員が今勉強に励んでおりますという状況です。3月の末になると合否が確定するということでございます。

【清水委員】

試験日は3月いつ位になりますか。

【正路委員】

末になります。

【清水委員】

じゃ、うちが終わってすぐ。

【正路者委員】

そうです。いつもそのように。試験官が丁度良い時期だからということで。

【長谷部部会長】

はい、よろしいですか。どうもありがとうございます。

今度、使用者の方からは、湯村委員だけですか。いつもありがとうございます。

【湯村委員】

5ページと10ページ目に内航の情報を頂いていますけれども、清水先生の方からも実習に乗船されたようですけれども、この結果を見ますと非常に充実した内容で、対象者も受け入れ側も非常に良かったというような好評を得られたようで、その中でも下から3段目の危険に対する基礎的注意が不十分で航海訓練の方の練習船でも実習段階で徹底した上で学生を送り込んでほしい、これは何か業界からの勝手な言い分のように聞こえますけれども、実際こういったことというのは、より現実に近い、実践に近い乗船をしたのでこういった評価がされたんだと思いますけれども、それなりにこれは評価していい結果だというふうに思います。非常に内航、船員不足ですけれども、内航に興味を示してくれてきておりますので、業界、我々にとっては非常に有難いような状況で、今後も内航の環境を整えて若者に振り向いて頂けるような業界に育てて頂きたいと。そのためには当然賃上げも必要なので、今高橋さんの方からお話しのあったような数字は快く業界としても認めていきたいというような気持ちは個人的にはあるんですけれども、まあ10ページの方に荷動きも非常に良くなってきて、運賃、乗船料も上昇機運が高まっているというような状況がありますけれども、本来の、燃料油が高騰して高止まりしているような状況で、多少運賃は上がっていますけれども、なかなか燃料の高騰分を補うほどまだ行っていないような状況で、過去の実例を見ますと、我々の業界の運賃上昇というのは、景気が回復してきて、それから大分タイムラグがあるというのはご存じだと思いますけれども、そういった状況の中で、気持ちはあるんですけれども、現実的にそういった職業を賄うだけの収入の目処が今のところまだ立っていないんですよ。そういうことで、業界のためには賃上げは非常に大切なことだというふうに個人的には思いますよね。お互いに協調し合っていくことが一番大切なのかと。

【高橋委員】

魅力をつけていくことが一番大事ですから。

【長谷部部会長】

協調して頑張って頂きたいと思います。他にいかがですか。

【野田委員】

新聞情報なんですけれども、2ページ、上にあります釜石の漁船員帰国できずとあるんですが、12月22日付なんです、釜石の方のこの新聞にある第108欣栄丸とあるんですけれども、乗組員は12月末までに全員帰国しております。中旬に4名、その後1人です。最終的には、12月31日にこの下段の漁労長が帰ってきております。4名の方で4カ月半、最後に帰ってきた人が丸5カ月です。大変だというか。

【長谷部部会長】

これは、内容に関しては、問題は解決したんですか。していないんですか。

【野田委員】

まだ船は現地の方にありますので。

【長谷部部会長】

いきなりで理不尽な事件だったような記憶があるんですけども、新聞で読んだときに。

【野田委員】

船の方としては、ここにあります日本かつお・まぐろ漁業協同組合の操業方法といえますかね、その指示どおり操業していたんですけども、水揚げの際、入港したら、いきなり現地の環境省ですかね、そちら方が来て、もう違法なことをしていると。全員のパスポートを取り上げて、出国出来ない状態が続いたんですね。

【湯村委員】

気仙沼の勝栄丸って勝倉さんのところの。

【野田委員】

そうですね。勝倉さんのところはもう10月中旬に出航して、すぐに入っていたんですけども、残り3隻中2隻がまだ係船というか、居ますね。

【長谷部部会長】

これからこういうこと沢山あるんじゃないですかね。オフィサーが一人頑張っちゃったんですかね。真面目な人が。国策なんですかね。

【野田委員】

結局部員の話聞けば、やっぱりブラジル領海、4隻そういうことだったので、現地漁民の方のやっかみというんですかね、それが強いんじゃないかと言っていますよね。彼らのもう小さい船なので、もう能力自体も全然違うために、そこに能力のある日本船が行ったもので何だということが多分あったという話なんですけれどもね。現地の漁民の。

【長谷部部会長】

ちょっと根が深いですね、そうすると。そうですか。

何かご意見ございますか。ご質問等よろしいですか。

どうもありがとうございます。

ほかに何かありますでしょうか。

何もなければ、意見交換を終わりということで、本日の議事は終了となります。

◎閉 会